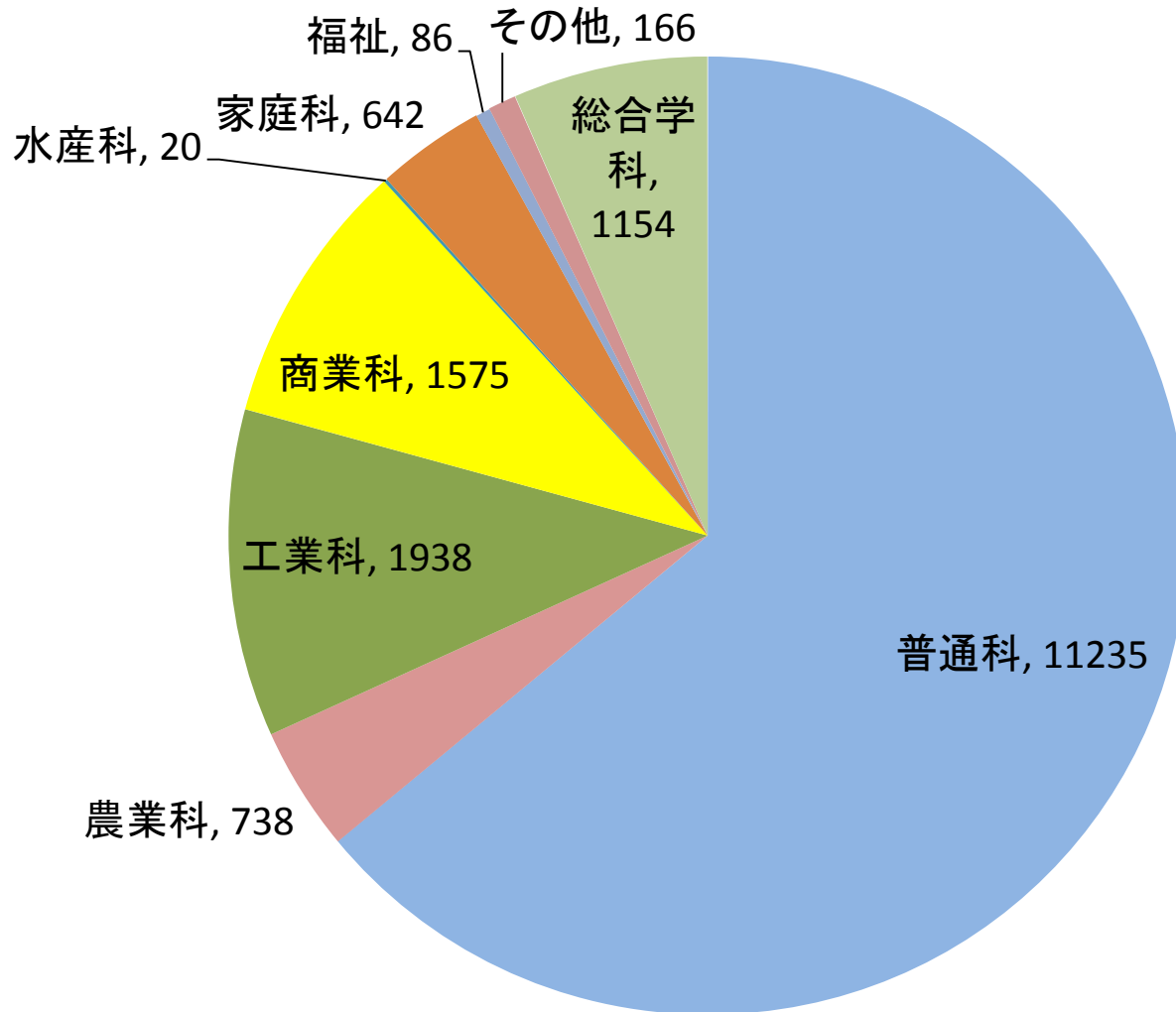


栃木県における キャリア教育



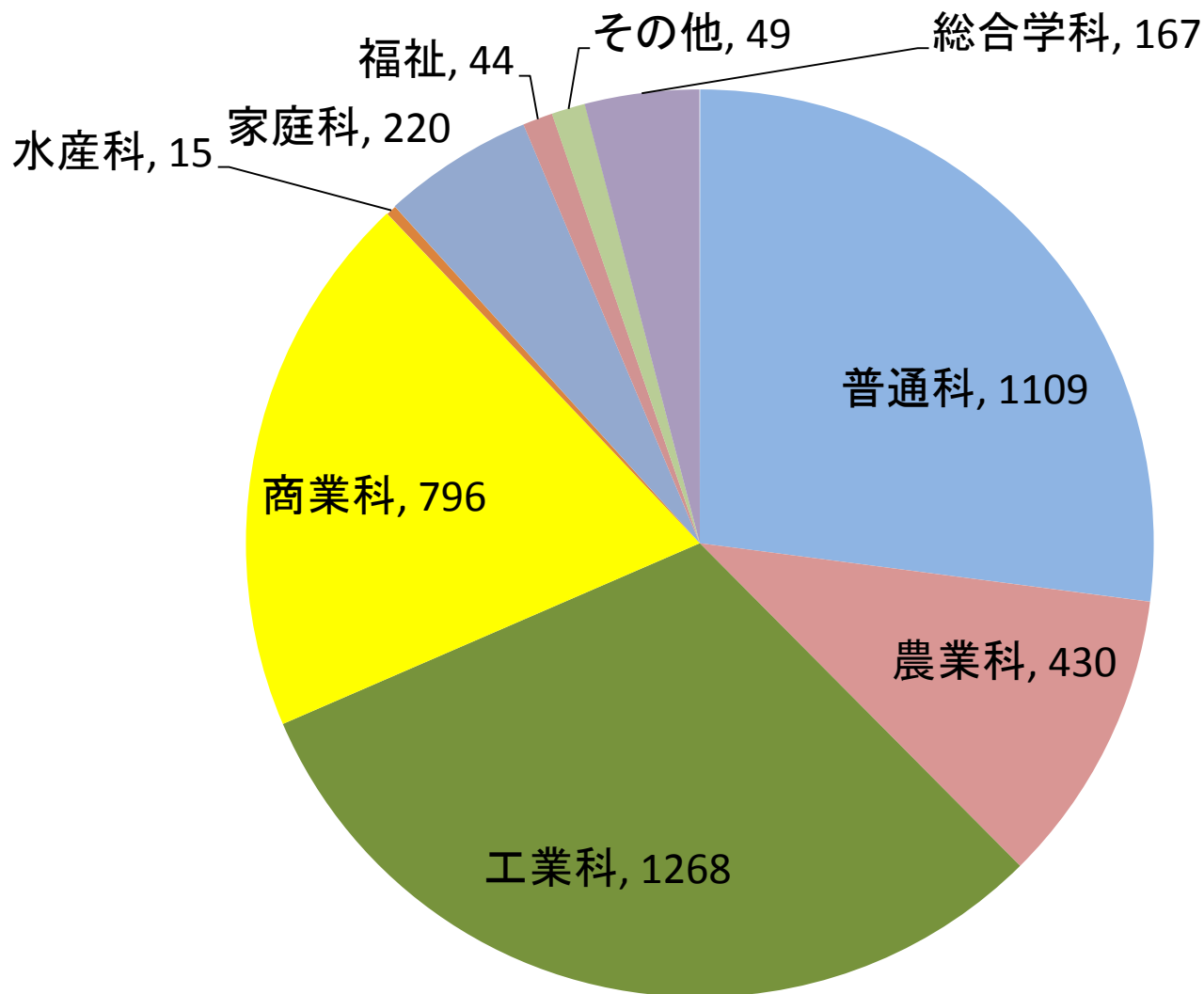
栃木県高等学校教育研究会進路指導部会長
栃木県立宇都宮商業高等学校 校長
杉本育夫

栃木県高校生課程別人数平成28.3卒



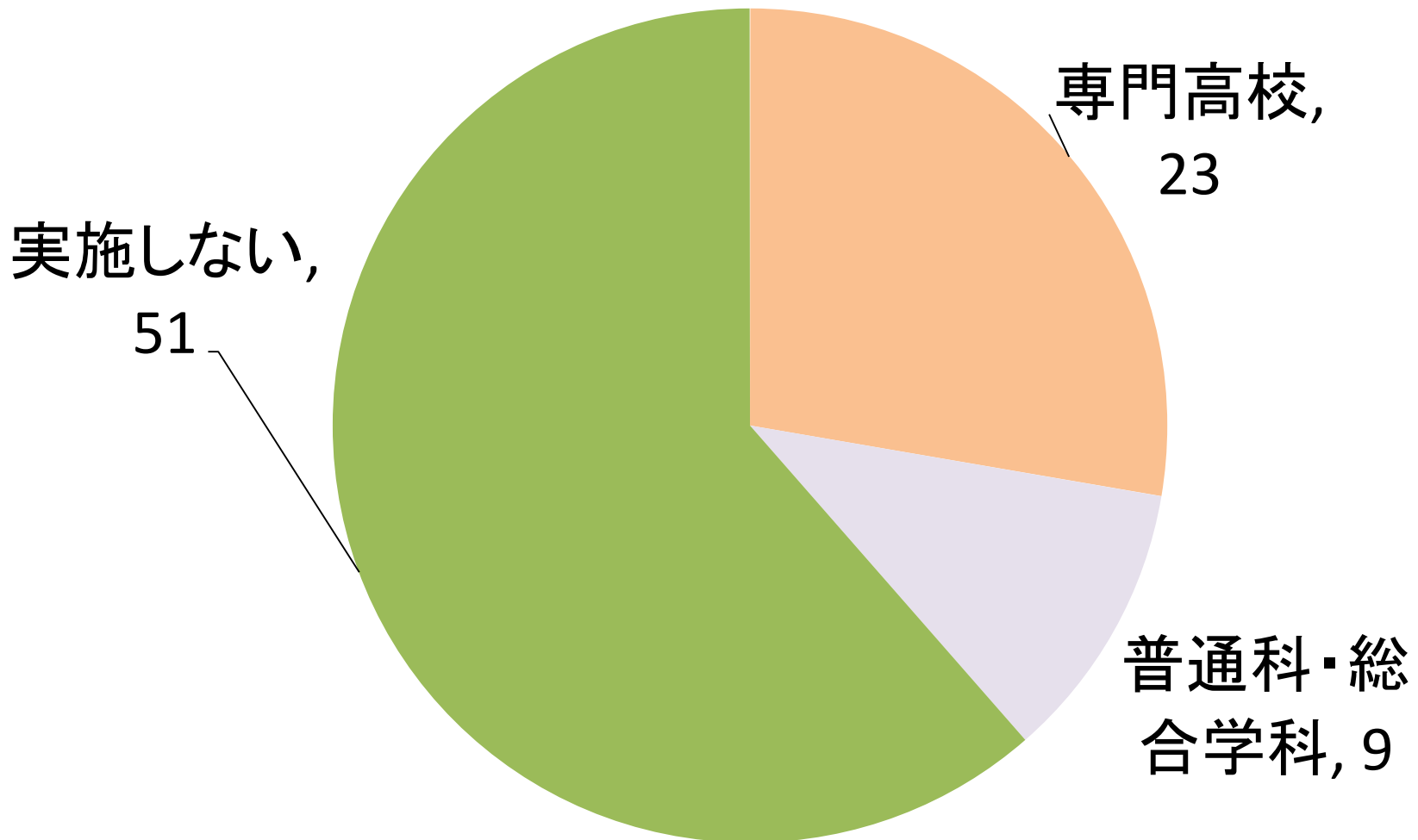
28学校基本調査より

栃木県高校課程別就職者(正非)人数 平成28.3卒



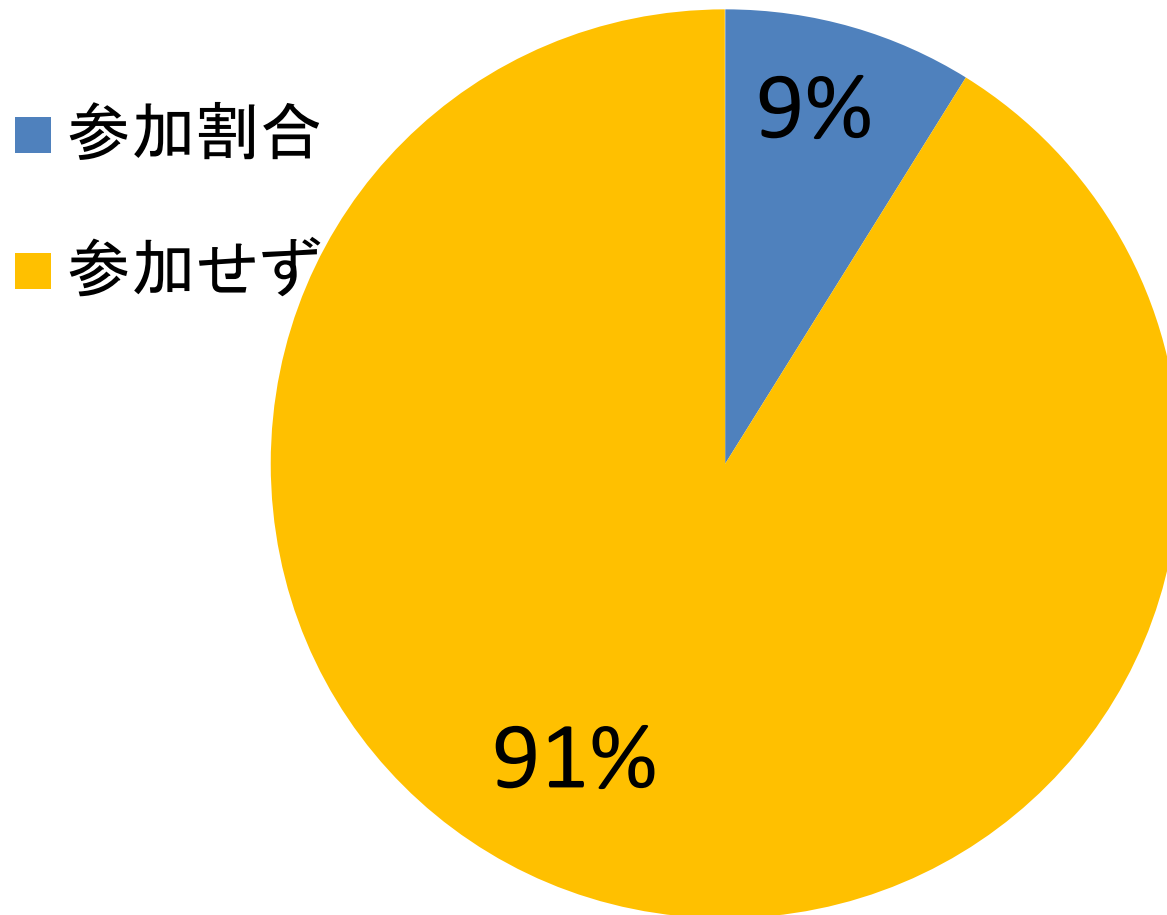
28学校基本調査より

インターンシップ実施・未実施高校数 H28



28. 7. 27産業教育審議会

県内高校在籍人数 インターンシップ参加者割合



キャリア教育の現状と課題 ①

- 栃木県の高校では、職業訓練をほぼ受けずに(普通科等)社会に出て行く高校生が多数いる。1,276名
- 栃木県の高校で、インターンシップを実施は32校／83校、高校在籍数8.8% 4,770人/53,802人
- 多くの高校では、キャリア教育を総合的な学習の時間3単位や特別活動の中で実施している、専門高校は2単位課題研究で代替できる。
- 小中高で地域や社会との連携については、職務の中に地域連携教員を設置、地域連携教育コーディネーター養成が急務。地域住民参画による学校支援地域本部の立ち上げ。学校のキャリア教育全体計画を提出させている。
- →教員生徒の意識の変革は？ 校内体制は？

キャリア教育の現状と課題 ②

- キャリア教育で育成すべき4能力をどこで育成
- キャリア教育導入の効果の検証、評価
- 諸活動の諸費用は誰が、どこから
- 授業時間とキャリア教育活動時間の確保
- 地域や企業、そして保護者は
- 教員は
- 校長は
- 生徒は
- これから、キャリア教育は……

キャリア教育の導入 宇商

学校教育活動全体図の中に位置づける
体験や経験をさせ考えさせるしかない
(成功体験、失敗体験、自己肯定感、)

企業と連携事業の展開

3年全員プレゼン学習実施

2年全クラスインターンシップ

高等教育機関見学

ボランティア活動の活性化

マナー指導、面接指導徹底

部活動の奨励

民間講師招聘授業

異年齢者との交流

キャリアについての講話

起業家育成事業

資格、検定試験受験の奨励

先輩からのアドバイス





キャリア教育を展開してから

- 生徒が自ら動き、挑戦するようになった
- ボランティア・地域貢献参加者多数
- 自分の行動に自信と責任感
- リーダーが出てきた(生徒会・部活)
- 地域からの評価、信頼
- 将来設計考えたり、服装・挨拶に自主性が
でた 働くことへの関心・意欲・態度
- 高校、大学卒業時に資格あり就職に強い



2016、2に策定した栃木県教育振興基本計画2020の基本施策の15項目の中に、キャリア教育は6自分の生き方を考える教育の充実の中の5項目の1つとして9行紹介

栃木県内の高校卒業した大学・短大進学者数10,040人そのうち県内の大学・短大に残る人2,686人 残留率26.8% 全国 32位 約7,000人が県外へ
群馬県 残留率 33.4% 23位